

Vol.62 2011.02.15

アワデントの粟津でございます。このメールは歯科企業向けマーケティング文書データベース「でんたる器材ライブラリー」のユーザーおよびサプライヤーの皆さまにBCCで一斉送信しております。進化を続けるODML.jp。その更新情報などをお届けするメールマガジンです。(リンク先をクリックする場合、事前にブラウザでODML.jpにログインしておいてください)

## 1. 追加更新文書ご報告

1. [新着情報ファイル](#)2011年2月15日号を登録。
2. 02月01日以降の[新規文書](#)は39、[更新](#)は113でした。

## 2. 第1回ディスプレイプレゼンコンテスト

たくさんのご応募ありがとうございました！おかげさまで9作品を投稿いただきました。素晴らしい作品ばかりで感激しました。これから月末まで皆さんによるご評価期間に入ります。ぜひみなさん1作品につき1回ずつ、ご評価とご感想をお寄せください。[こちらのページ](#)からお願いします(Googleアカウントを取っておいてください)

投票期間：2011年2月15日～28日

賞品：1位：iPad Wi-Fi、2位3位も素敵な賞品

## 3. 緊急ODMLユーザーミーティング開催

いよいよODML for iPadが4月にデビュー予定です！そこで、緊急ユーザーミーティングを開催することに致しました。「デジタルコミュニケーションフェア2011」「医院デザインフェア2011」がスタートする直前、同じビルにて開催します。ぜひとも皆さま併せてご参加ください！



日時：2011年4月9日 土曜日12:30～14:30(2時間)

会場：秋葉原UDXビル会議室

会費：ユーザー無料、ユーザー以外1名1000円

内容：

1. ODML for iPad正式発表
2. 今後のモバイル展開の方向
3. 今後のオプション機能開発
4. ご意見伺い

定員：45名

詳細はまた後日ご案内します。まずは日程の確保を！

## 4. facebook ページ始めました。

**OUR DENT** 話題のフェイスブックにアワデントがデビューしました。といっても内容はまだまだこれからですが・・・今年フェイスブックの年になりそうな予感です。情報感度の高いみなさん、まずはアカウントを取りましょう。そして"ourdent"を検索して「いいね！」を押してください。最新の情報をお届けいたします。既にアカウントをお持ちの方は[こちら](#)から。

## 4.2011ケルンIDSレポートを募集

前号にてご案内した件、再掲します。

【エントリー要項】

申込：出発前日までに粟津まで連絡ください。

内容：歯科企業向けのレポートが望ましいです

形態：A4用紙に10pt程度の文字で3ページ以上、できれば写真添付していただくと嬉しいです。

謝礼：レポート受領後にAmazonギフト¥5,000を進呈

ほか：ペンネーム投稿可能。動画添付も対応。

資格：本メルマガ読者の歯科企業関係者に限ります。ただし自社商品宣伝のみを目的とされる場合はご遠慮下さい(多少の宣伝はかまいませんよ)



## 5. 毎週水曜朝 ODML Morning Live

- [第39回はディスプレイプレゼン追加分紹介](#)
- 毎週水曜日朝08:15にアクセス→<http://ustre.am/h830>

## 6. 今後の出張予定

・03/04(火)～03/17(月)：東京

・04/05(金)～04/11(金)：東京

## 7. 各種告知などのご案内&編集後記

フェイスブックをずっと試してます。ツイッターとはまた別の意味での面白さがだんだんと分かってきたように思います。「実名」というところがやはりキモなのですね。「私はこういう人間です」と世界中に宣言するツール。確実に組織中心であった仕事や生活のあり方を変えていく、そんな気がしてなりません。

さて、ディスプレイプレゼンコンテストの作品をざっと眺めると、炸裂する才能みたいなものを感じます。投稿してくれた彼らはいまままでパワーポイントなどほとんど触ったことのない現場の営業マンです。ただ単に日ごろのセールストークを絵にしてみたただけなのに、これまでどんなメーカーさんが頭をひねっても出でてこなかったアイデアやコンセプトが弾けんばかりにぐっと詰まっているのです。

これからは「マージナル」にいる人間の持つセンスや情報をうまく解放した企業が新しい成功をつかむ気がします。それはまさしく個人の力を基本とするものです。フェイスブックもツイッターも、今後は個人のチカラを世界に向けて発信していく素晴らしいツールになるのだと思います。

ODMLも現場の個人がいきいきと仕事できるための道具だと考えています。今年はその意味でモバイル化を果たします。現場から始まるSomthin' Wonderfulにもっともっと業界の期待が高まりますように。それではまた次回！

